第９回Zoom子どもの学びを創る会/
第９０回日本授業UD学会中国支部例会

令和５年度テーマ　well-beingな学校をつくる
よい ＋ 状態

子どもたち・教職員の well-beingな生活時程を考える

長門市公立小学校
教諭　芝田　秀樹
（日本授業UD学会理事・中国支部代表
子どもの学を創る会代表）

なぜ，well-beingなのか

・国連「世界幸福度ランキング」(2022)
　日本54位/世界146カ国，　G7中最下位

・今後目指すべき未来社会像として、（中略）人間中心の社会としての「Society 5.0（超スマート社会）」が示されている。

・将来の予測が困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。　「次期教育振興基本計画について」（答申）P7

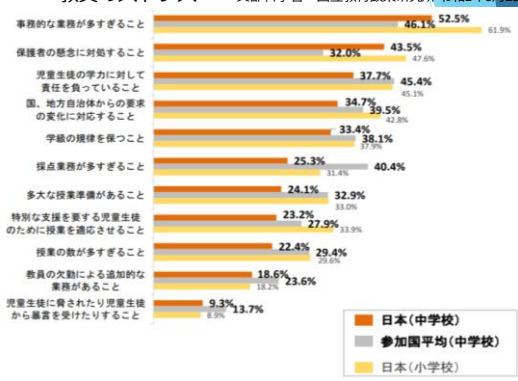
well-beingとは真逆な教員の過酷な勤務実態に

2023.8.28中教審特別部会

個人でできること
学校組織でできること
国・文科省・教育委員会でできること

教員のストレス

OECD 国際教員指導環境調査(TALIS)2018報告書
文部科学省・国立教育政策研究所 令和2年3月23日



日本の小中学校教員のストレス

OECD 国際教員指導環境調査(TALIS)2018報告書から

○日本の小中学校教員の上位２位のストレス

1 事務的な業務の多さ（書類への記入，報告書等）
中学校52.5%（平均＋6.4）小学校61.9%）

2 保護者の懸念に対処
中学校43.5%（平均＋11.5）小学校47.6%）

○日本の小中学校の教員は，１１項目中９項目で中学校より小学校教員の方がストレスを受けている。

○小学校の教員は，
「文科省や県・市教委からの要求」
「学級の規律を保つこと」
「特別な支援を要する児童生徒のために授業を適応させること」
「多大な授業準備」
にストレスを感じている。

よく耳にする現場教員からの声

▷長時間勤務を避けることばかりが進み、削減される業務がない。

▷子どものために授業を工夫し、挑戦したいと思っていても、それがくじかれるような業務や出来事が毎日のようにある。（学級の荒れ、若手教員増加によるフォロー負担、提出文書・報告文書）

▷足並みを揃えないといけないと気持ちが先立ち，「自分の思う授業なんてできない」と、挑戦しないマインドが定着していく先生も少なくない。

▷現場の人員不足（定年大量退職，中途退職者・休職者の増加）からの負担感

精神疾患で離職した教員は9年前の約1.5倍に増加
公立小中高校は953人（小)571人、(中)277人、(高) 105人
文科省､学校教員統計調査（中間報告）2023.7.28

▷物言う保護者からのクレームに学校は，防御の姿勢を取らざるをえず、管理職による指導もきつくなりがちで、新たな意欲が萎えたり，心が折れたりしやすいという声もある

ユニセフ報告書「レポートカード16」先進国の子どもの幸福度をランキング 日本の子どもに関する結果（2020）

子どもの幸福度の結果：＜総合順位：20位＞

日本の分野別順位

分野	指標
精神的幸福度（37位）	生活満足度が高い15歳の割合[i]
	15～19歳の自殺率
身体的健康（1位）	5～14歳の死亡率
	5～19歳の過体重/肥満の割合
スキル（27位）	数学・読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合
	社会的スキルを身につけている15歳の割合[ii]

i最近の生活全般にどれくらい満足しているかという設問で、0～10のうち「6」以上を選んだ生徒の割合。ii「すぐに友達ができる」という設問に「まったくその通りだ」または「その通りだ」を選んだ生徒の割合（データの出典はいずれも2018年PISAテスト）

日本は子どもの幸福度（結果）の総合順位で38カ国中20位。
分野ごとの内訳をみると、両極端な結果が混在する結果。
身体的健康は1位でありながら、精神的幸福度は37位という最下位に近い結果。
スキルは27位だったが、その内訳をみると、2つの指標の順位は両極端。

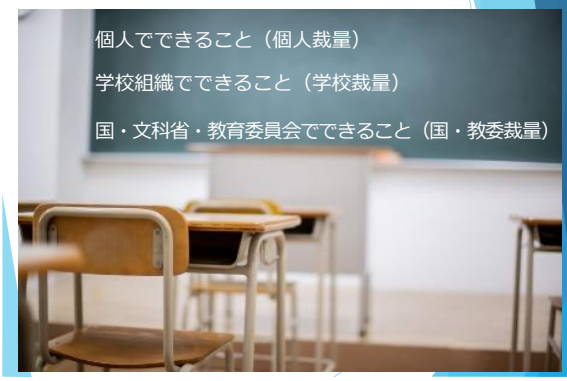
こども基本法

2023年（令和５年）４月施行

日本国憲法や児童の権利に関する条約の精神に則ったこども施策の包括的な基本法

すべてのこどもが幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す。

well-beingな学校づくりのために



のユニバーサルデザイン

(2019阿部・赤坂)

全ての子が過ごしやすく学びやすい教育

授業のユニバーサルデザイン

クラスの全員にとって分かりやすい授業

視覚化・焦点化・共有化
全員参加・全員理解 等

教育環境のユニバーサルデザイン

集中できる教室環境の工夫

刺激量の調整
分かりやすい表示
整理・整頓がされている等

人的環境のユニバーサルデザイン

子ども同士が支え合い・学び合うクラス環境

安心して学べる場
わからないこと，できないことに正直になれる場
援助を求めることのできる場等

教育のユニバーサルデザイン（UD）と生活時程

授業ＵＤ

教室環境ＵＤ

人的環境ＵＤ

（2019　阿部）

時間（生活時程）

提案

教員は，全員参加・全員理解のために，授業のUD化とともに，教室環境や人的環境のUD化に挑戦している。

が，そのUD化を考える時間がないので，5分でも早く児童生徒を下校させ，教材研究や事務処理時間を確保しようとする学校や自治体がある。

教職員の働き方改革からすれば，理解もできるし歓迎もできるが，子どもの側からすれば，学校生活の満足度が気になる。

そこで，学校のwell - beingが高まる生活時程を考えたい。

１単位時間は，なぜ45分なのか？

▷昭和22年、１単位時間60分
▷昭和26年、１単位時間60分
・実態調査の結果、大部分の小学校において、小休憩・教室移動・次時の学習準備の時間を除いた授業時間が45分と判明（小休憩が15分あったと思われる。）
▷昭和33年告示「小学校学習指導要領」においては、授業の１単位時間は45分とすることが望ましいとされ、現在に至る。

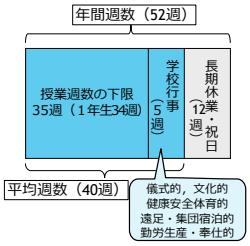
明快な理由は分からなかったが，下のように1単位時間を決める条件はある。

(7) 各教科等のそれぞれの授業の１単位時間は，各学校において，各教科等の年間授業時数を確保しつつ，児童の発達の段階及び各教科等や学習活動の特質を考慮して適切に定めること。（小学校学習指導要領p20　第１章第２の３の(2)のつの(7)）

児童の学習についての集中力や持続力，指導内容のまとまり，学習活動の内容等を考慮して，どの程度が最も指導の効果を上げ得るかという観点から決定する必要がある。（小学校学習指導要領総則P62）

以上の条件を満たして，**各学校**が適切に定める。

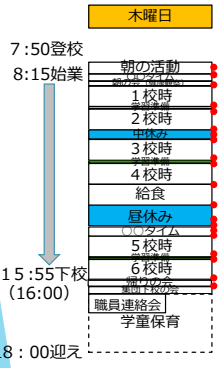
年間の授業週数



A小学校の生活時程（4～6年）

週時数29時間（28時間＋15分×３）

A小学校の１日の生活時程(木曜日)



在校時間
始業(7:50) ～下校(16:00)
8時間10分間（４９０分）

指導のない時間

学習準備	15分（5分×３）
中休み	25分（5分前行動含）
昼休み	45分（5分前行動含）

実質自由時間の割合
（20分＋４０分）/490分

● チャイム（２０回）

2015（H27）「業務改善の取組状況調査」
ワークライフバランスや校長のリーダーシップが求められる。
2018（H30）働き方改革のための取組状況調査
教師の働き方改革を求める動きが一気に加速

↓ 長時間勤務の解消のための取組（支援スタッフや校務支援システムの導入等）を実施しているが，時間外勤務削減への大きな効果がない。

業務改善・働き方改革のための放課後確保への動き

無謀な削減をしてみた。
左図によると，15：00から，事務処理や会議が可能になる。
放課後105分間の確保

このような生活時程で，教職員や子どもの学校生活の質が向上するとは思えない。
学童保育に１時間早く行くことも悩ましい。

放課後の確保のためには、過密な時間割や休憩削減は当然？

過密な時間割

- 標準授業時数の増加（週29）
- 学力テストの補習（朝学）
- ７時間目の回避（朝15分×3）
- 学校独自な○○タイム
- 掃除は週３回
- 小休憩５分は学習準備

放課後の時間と使い方

- A小の放課後の時間（月･火･金曜日45分、水曜日0分、木曜日10分）
- 降ってくる業務は減りそうにもない。
- 分掌事務に追われ，次時の授業準備まで辿り着かない。
- 持ち帰りができない業務だけはして，帰宅しよう。

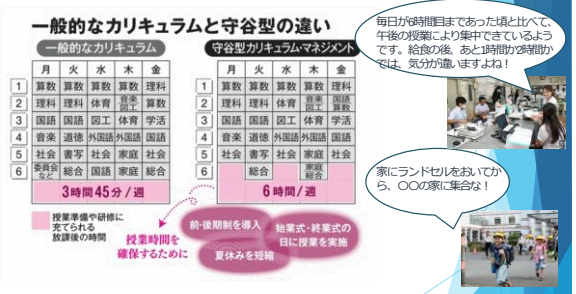
「午前集中型　40分×５コマ」の新たな時間割

市立つづきの丘小学校（「持続可能な学校」モデル事業）

学校の働き方改革に「週3日5時間授業」　「形を変えれば意識は変わる」

茨城県守谷市教育長が語る市独自の取り組み

AERA　2023/08/18/11:00



首長や校長など、特定の人の手腕頼みでは、その人の異動や退職で改革がゼロに戻ってしまう。そのためにもシステムを変えることが重要だ。
設計時には、校長会や教頭会、保護者会、教育研究会に声がけし、議論を重ねた。

KRY山口放送

はやくも2学期がスタート　山口・阿武町の小学校で始業式

2023.08.21

６時間×10日＝６０単位時間　　６０÷３５週≒1.7時間/週
子どもや教員の負担軽減の対策として，夏休み分60時間を各月に割り振るとしたら週1.7時間減らせる。冬休みに2日の授業日を確保すれば，
６時間×12日＝７２時間　７２÷３５≒2.06時間/週
週2時間減ることになり，週27時間の授業が可能となる。

長期休業をもっと少なくして，毎日５時間授業にしたらどうかと考える。
夏季休業１７日，冬季休業４日，春季休業２日　計２０日
６時間×23日＝138単位時間　　138÷３５週≒3.9時間/週

JIJI.COM 時事通信

小学校教科担任、配置前倒し

多忙化対策来年度で完了ー文科省検討　2023/8/21(月)

外国語や理科など４教科について、2022年度から25年度までの４年間で段階的に増やす計画を立てていたが、１年前倒しを視野に入れる。
文科省は小学５、６年の外国語、理科、算数、体育の４教科で、教科担任制の導入を22年度から本格的に進めている。自民党の「令和の教育人材確保に関する特命委員会」（委員長・萩生田光一政調会長）は５月、22～24年度の３年間で教員配置を完了するよう提言。

「教科担任制」推進へ、小学校教員の増員前倒し…来年度1900人

読賣新聞 オンライン　2023/8/21(月)

公立小学校教員を巡っては、担当する週時数が平均24.6コマと、中学校教員よりも6.6コマ多く、負担の重さが指摘されている。翌日の授業準備やテストの採点などが夜間に及ぶことも多く、同省による22年度勤務実態調査では、小学校教員の64.5%が国の指針で定める「月45時間」の上限を超える残業をしていた。
　同省は、来年度に全国で計３８００人の増員が実現すれば、計算上、週３.５コマを教科担任が教えることになり、クラス担任の授業数が２１コマ程度に減ると見込んでいる。

子どもは、短時間の休憩時間でもよいのかも

2023/08/09朝日新聞thinkキャンパス

大人と子ども、時間の感じ方なぜ違う？
原因は「代謝」の違い？

代謝は、大人より子どもの方が激しいので、子どもは時間をゆったり感じ、1日が長くなる。

一川　誠（いちかわ・まこと）/千葉大学大学院人文科学研究院教授

2018.7.20 NHK「チコちゃんに叱られる！」から

大人になるとあっという間に
１年が過ぎるのは、
トキメキがなくなったから。
１９歳ぐらいから早く感じる。

一川　誠（いちかわ・まこと）/
千葉大学大学院人文科学研究院教授